

第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 開催要項

1. 主催 公益社団法人日本学生陸上競技連合、読売新聞社
2. 共催 仙台市
3. 後援 文部科学省、宮城県、報知新聞社、日本テレビ放送網、宮城テレビ放送（申請中）
4. 運営協力 東北学生陸上競技連盟、一般財団法人宮城陸上競技協会、公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
5. 期日 2013年10月27日(日)
6. コース スタート:仙台市陸上競技場～フィニッシュ:仙台市役所前市民広場 6区間 38.0km
7. 参加資格
 - 1) 2013年度日本学生陸上競技連合普通会員
 - 2) 30回大会上位6チーム(立命館大学、佛教大学、筑波大学、松山大学、大阪学院大学、大東文化大学)で参加を希望する大学
 - 3) 各地区学連から参加するチーム数は19とし、代表は次の通りとする。
北海道1、東北1、関東6、北信越1、東海2、関西4、中国四国1、九州3
 - 4) 総出場数は、2)の6チーム、3)の19チーム及びオープン参加の東北学連選抜チーム1チームを含めた26チーム
8. チーム編成 1チーム12名(監督1名、マネージャー1名、選手10名)をもって編成する。
9. 申込方法 主催者から送付されるチームエントリー用紙に必要事項を記入し、2013年10月2日(水)正午までに読売新聞東京本社スポーツ事業部(〒104-8325 東京都中央区京橋2-9-2、E-mail:spopro@yomiuri.com)に申し込むこと。なお、申込については大会事務局の指示に従うこと。
10. 表彰 優勝チームには、文部科学大臣杯、賞状、日本学生陸上競技連合会長杯及び優勝旗(読売新聞社)等を贈与する。第2位から第8位までに賞状及び日本学生陸上競技連合楯を、各区間の最高記録者には賞状及び区間賞を、優勝チームの監督に優勝監督賞をそれぞれ送る。
11. 注意事項
 - 1) ドーピングコントロールテストは、日本アンチドーピング機構及び日本陸上競技連盟の原則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。
 - 2) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者にて行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2013年度の日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
 - 3) 大会の映像は、主催者の許可無く第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
12. その他
 - 1) 参加チームには強化費として20万円を支給する。
 - 2) 本大会で8位以内に入ったチームには、2014年開催予定の第32回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の参加権を与える。
 - 3) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
 - 4) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することができる。
13. 大会事務局

<10月21日まで>

東北学生陸上競技連盟 TEL&FAX: 022-295-2992
〒983-0803 宮城県仙台市宮城野区小田原1-5-37-1階
E-mail: tohokugakuren2992@gmail.com

<10月22日から27日まで>

江陽グランドホテル 3F 羽衣の間 TEL&FAX: 未定
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-3-1